



かわごえ



民児協だより

〔第70号〕

平成29年1月発行

川越市民生委員児童委員協議会連合会広報部会 / 川越市小仙波町 2-50-2 川越市社会福祉協議会内 ☎049(225)5703・FAX049(226)7666



川越百景

小雪舞い落ちる中、今にも話しかけてきそうな穏やかな石仏…ここは喜多院五百羅漢です。今から234年前から約50年間にわたり建立。喜怒哀楽あり、日用品を手にしたり、動物を従えたりとその姿はいろいろです。言い伝えでは、夜中にこっそり羅漢さまの頭をなでると、一つだけ温かいものがあり、それは亡き父母に似てるとかの言い伝えがあります。



川越市民生委員
児童委員協議会連合会

会長 芝波田 静香

明けましておめでとうございます。皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の一斉改選により、一九〇名の新任委員を含む四七五名が委嘱されました。新しい仲間との出会いに喜びと期待を抱くと共に、お互いを尊重し支え合う活動しやすい環境づくりに努めてまいります。

改めて、適任者をご推薦いただいた自治会長さんをはじめ、関係各位のご尽力に感謝申し上げます。

昨年は、四月に発生した熊本地震をはじめ、台風による水害等の自然災害が相次ぎ、その上天候不順が重なりました。生命の尊さと助け合いの大切さ、また関係機関等との連携した体制づくりの必要性を痛感致しました。引き続き、地域の方に民生委員の存在や活動についてご理解いただき、担当地区内の把握を進めてまいります。

現在、核家族化が進み、近隣同士のつながりが希薄になる中、今後増々地域における助け合い、支え合いの心が大切になってまいります。私達は地域の一員として、また地域福祉の担い手として、誰もが安心して住み続けることができる地域社会づくりに貢献してまいりたいと思います。

本年は、民生委員制度の前身であります「濟世顧問制度」の創立から数えて、すでに創設一〇〇周年という大きな節目を迎えます。先人が、長い年月をかけて築いてこられた地域への変わらない思いを継承し、民生委員・児童委員の三つの基本姿勢である「社会奉仕の精神」・「基本的人権の尊重」・「政治的中立」を指針とした活動に心掛け、飛躍の年となりますようご協力をお願い申し上げます。

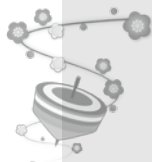
結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年を迎えてのあいさつ



社会福祉法人
川越市社会福祉協議会

理事長 小川 倫勝



明けましておめでとうござい
ます。

民生委員・児童委員の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から川越市社会福祉協議会に對しまして、あたたくいご支援とご協力をいただきありがとうございますこと、心から厚く御礼申し上げます。

今日の地域社会は、急激な少子・高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし世帯・高齢者だけの世帯が増加している状況に加え、地域の結びつきや住民相互の絆が年々希薄化しております。

また、経済的格差などの拡大も相まって、社会的孤立や生活困窮、介護、子育てに対する不安など、様々な福祉課題が多様化しているところでございます。

このような中、地域住民が主体となり、ともに支え合い助け合う地域福祉の推進が喫緊な課題となっております。

この度の改選により、ご就任されました民生委員・児童委員の皆様には、多くの福祉課題が山積するなか、地域福祉の担い手として、また、地域住民の身近な相談者、支援者として活躍いただきますますよう切に願うところでございます。

川越市社会福祉協議会といたしましては、地域福祉の中核的役割を担う団体として、多様化する福祉ニーズに柔軟に対応すべく地域福祉の推進に向け、民生委員・児童委員協議会をはじめ、各種の関係団体・機関等と連携を図り、地域に根ざした福祉の充実に向け、より一層取り組んでまいります。

民生委員・児童委員の皆様におかれましては、今まで以上のあたたかいご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、民生委員・児童委員の皆様のご健勝とご多幸とともに、貴会のみましますのご発展をお祈り申し上げ、新春のごあいさつといたします。

地域の活動紹介

第10地区

はっぴー体操

はっぴー体操サークル

は、新宿町六丁目の新旧民生児童委員が中心となり、加齢に伴い衰えやすい筋肉を、維持、向上できる「いもっこ体操」の実践をおし、町内の皆さんが元気に生活できる習慣を身につける取り組みを目的に、平成二十六年一月に発足しました。

サークル活動は、毎月二回第一水曜日と第三水曜日に、二十五名程が出席し、六丁目自治会館を会場に、「いもっこ体操」と「演歌で健康体操」を中心に開催しています。

また、肺炎予防や脳の活性化への取り組みとして、吹き戻し呼吸筋体操、脳トレ算数、お手玉、吹き矢を取り入れた各種ゲーム等、内容に工夫を凝らしながら参加者が楽しめる活動を心がけています。

皆さんの楽しみは、体操の後のお茶会で、趣味や旅行の話に花を咲かせる時が一番楽しいようです。
二十八年度は、春と秋に簡



易体力測定を地域包括支援センター「みずほ」の協力をいただき実施する事ができました。

小林 正次



南古谷地区 オレンジカフェ

地区内のオレンジカフェは、東部地域ふれあいセンターと特別養護老人ホームぼぶらの樹の二会場で開催されています。民生児童委員は東部

地域ふれあいセンターのオレンジカフェに、毎回四名がスタッフとして参加し、主催する「地域包括支援センターよしの」の職員と、地域のボランティアと共に運営が円滑に出来るように心がけています。

初回は平成二十六年九月でしたから三年目になります。毎



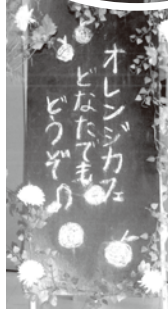
奥田 紀子
会長

南古谷地区民児協

月第一金曜日の九時半〜十一時半開催でお茶代として百円頂きます。参加者は毎回三十名程で、女性が圧倒的に多く会話が弾んで、カフェの中はとても活気があります。会場にはボランティアによる手芸コーナーがあり参加者の楽しみの一つになっています。カフェなのでお品書きがありメニューも豊富です。夏の一番人気はメロンクリームソーダでした。淹れたてのコーヒも年間を通して人気があります。

夏には開店前の待ち時間に、熱中症予防のための飲み物を配り、たいへん喜ばれました。各テーブルにはいつも季節の花を飾り、皆で居心地良い空間と時間を共有出来ていると思います。

地区社協と共催で行う十二月のクリスマススペシャルは地区内の中学生も参加して百名規模になります。中学生からは元気をもらい、中学生にとっては地域の高齢者を知り、認知症への理解が深まる良い機会となっております。





平成二十七年年度の年間活動記録集計から、日々の活動を振り返ってみました。

平成二十七年年度は、川越市民児連が三年ごとに実施している「居住者カード」作成年度のため、二十六年度と比較し、「その他の活動件数」欄の「調査・実態把握」が約十倍に、「訪問件数」欄の「その他」も、約三倍に増加しています。居住者カードの作成は、川越市民児連の特色ある取組の一つです。自治会と協力して実施しています。が、依頼方法や回収方法等は各自治会により異なっています。集まった居住者カードは、民生委員・児童委員が担当地区のものを保管し、日々の活動をスムーズに進めるための重要な情報資料として活用しています。

「訪問件数」欄の「訪問・連絡活動」が月平均約十三件となっています。これは、民生委員・児童委員一人の担当

地区の高齢者等の見守り件数を示しています。月一回の訪問なら十三名の高齢者等を、月二回の訪問なら六〜七名の高齢者等に関わっていることが分かります。毎月三十名近くの高齢者の見守り活動を行っている方もいます。

「連絡調整件数」欄の「委員相互」は、月平均約七件となっていますが、委員相互の情報交換は活動の充実や民生委員・児童委員相互の交流を図る上で大切だと思います。また、「その他の関係機関」は、月平均約四件となっていますが、いろいろな質問や事態に対応するために関係機関との連携は欠かせない事であり、今後益々増えていくと思います。

「活動日数」は、月平均約十五日となっています。その大半は、高齢者等の見守り活動が占めています。また、「その他の活動件数」欄の①「行事・事業・会議への参加・協力」が月平均約三件となっていますが、青少年健全育成・防犯活動の会議への参加や、小中学校の行事や最近増加してきた生徒指導上の情報交換会への参加等。②「地域福祉活動・自主活動」が、月平均

約五件となつていますが、市が推進している「いもっこ体操」や「オレンジカフェ」に、民生委員・児童委員が積極的に協力している活動等。

③「民児協運営・研修」は、月平均約三件となっていますが、地区別の毎月定例会や部会（六つの部会）への参加等。このような活動に日々取り組んでいます。

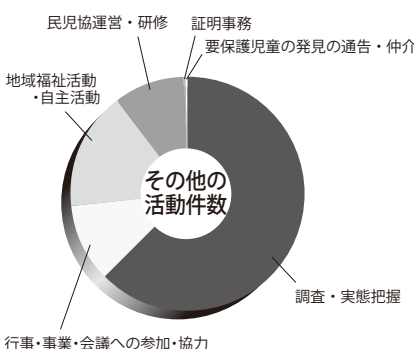
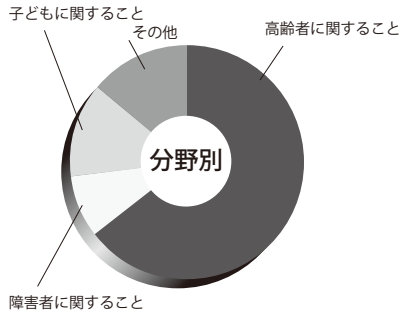
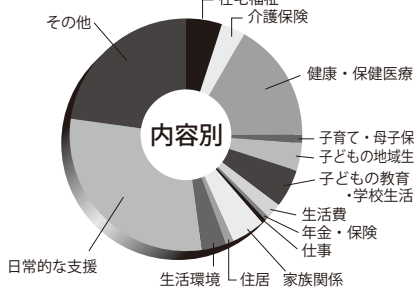
「相談・支援件数」（分野別）欄の「高齢者に関すること」が約六十五%、「障害者に関すること」が約九%、「子どもに関すること」が約十三%となっていますが、私達民生委員・児童委員の活動が、高齢者に関することが大半を占めていることが伺えます。川越市では、高齢化率が二十五%を超えています。今

後、高齢者の増加に伴い、様々な対応が求められると思います。私達民生委員・児童委員は、民生委員・児童委員信条をしっかりと確認し、日々の活動を進めていきますが、この「活動記録」集計結果が、活動の更なる充実に役立てば幸いです。

【資料提供】福祉推進課
【文責】西田・久保田

平成27年度 活動記録 集計より

H27.4.1~H28.3.31時点 民生委員・児童委員 486人		合計件数	比率	1人当り件数/月	
相談支援件数	内容別	在宅福祉	828	5.0%	0.14
	介護保険	564	3.4%	0.10	
	健康・保健医療	2,740	16.7%	0.47	
	子育て・母子保健	160	1.0%	0.03	
	子どもの地域生活	669	4.1%	0.11	
	子どもの教育・学校生活	874	5.3%	0.15	
	生活費	342	2.1%	0.06	
	年金・保険	84	0.5%	0.01	
	仕事	107	0.7%	0.02	
	家族関係	754	4.6%	0.13	
	住居	202	1.2%	0.03	
	生活環境	547	3.3%	0.09	
	日常的な支援	4,856	29.6%	0.83	
	その他	3,699	22.5%	0.63	
計	16,426	100.0%	2.82		
分野別	高齢者に関すること	10,611	64.6%	1.82	
	障害者に関すること	1,416	8.6%	0.24	
	子どもに関すること	2,157	13.1%	0.37	
	その他	2,242	13.6%	0.38	
計	16,426	100.0%	2.82		
その他の活動件数	調査・実態把握	108,185	62.5%	18.55	
	行事・事業・会議への参加・協力	18,965	11.0%	3.25	
	地域福祉活動・自主活動	28,532	16.5%	4.89	
	民児協運営・研修	16,885	9.8%	2.90	
	証明事務	349	0.2%	0.06	
訪問件数	要保護児童の発見の通告・仲介	178	0.1%	0.03	
	計	173,094	100.0%	29.68	
	訪問・連絡活動	77,767		13.33	
	その他	158,940		27.25	
連絡調整件数	計	236,707		40.59	
	委員相互	39,603		6.79	
	その他の関係機関	25,383		4.35	
活動日数	計	64,986		11.14	
		85,212		14.61	



生きがい訪問

● 第7地区 ●

佐藤 美也子さん



息子が高一の時、仙波町に転入。暫くして息子に二人の友人が出来四十年近く交流が続いています。二人は高校時代電車通学で駅に近い我が家でたまに小休止してから帰りました。高校、大学、就職、結婚と随分長い間私も話の仲間に入れてもらっています。



男子校だった息子達、大学生になるとガールフレンドを連れて来て部屋が明るくなったのも楽しい思い出です。

息子は海外勤務が長く独居の私をご夫婦で気にかけてお花見、映画、外食と楽しい時間を作って下さったり、電話で健康確認して下さいます。もう一人の方は突然いらしてスポーツの話にはじまり職場の事など楽しく近況報告して下さいます。私は息子と話すより二人との時間の方が多いと言っていていつも感謝しています。

私もいつの間にか老人の仲間入り。老人の悪いくせは同じ話を何度もしたり、愚痴話になったり、相手の話を聞いていない。相手をする人は大変と図書館からお借りした本で勉強になりました。時間がたつぷり有る私。二人が来て下さってもお相手出来るよう朝一番に新聞を開き、図書館や本屋へ行く事を続けるつもりです。



● 霞ヶ関北地区 ●

小林 龍巳さん



徐々そろそろ自分の人生が、今、正に黄昏とする時、ふと自分の人生を振り返ると、日々やるべき事を懸命に努力して来た充実感と同時に何かくつきりとした轍を残したかったという心の淋しさを感じたことがあります。

今後は社会のために無償奉仕活動、特に地域に関わる環境美化活動を第二の人生の生きがいとして取り組むことを心に決めました。

周辺の河川環境の悪さ、この環境整備こそが地域との連帯感を生むと確信し四季折りを折り楽しめる、色彩の花壇づくりを定年後十五年間継続して来ました。

今後もこの地に「住んでみたくなるような」「住んで良かった」と思える環境づくりをストラクチャーして行こうと考えております。

この間、環境美化の社会貢



献が認められ、県知事より二度賞を賜り(感謝状・シラコバト賞)感謝感激しております。今後の私にとりましても大きな心の財産になることと信じます。

自分のやりたい情熱資産を持つていれば、その活躍の場や生きがいのある場は無限に大きく広がることと確信しております。

これからは、アクティブ・エイジング(高齢新人類0を目指し、一年発揮し健康で楽しく有意義な、生きとし生けるものを愛しむ心を養い刻を大切に過ごして行きたいと思っております。

各地区の小さな川越まつり

第十地区

富士見山 馬頭 観世音祭り

三光町自治会 会長 圓谷 常房

我が町内に脈々と伝わる観音様の祭りは、鎌倉時代の十三世紀初頭に河越三郎重員によってこの地に祀られて以来七百年余り。今日に至るまで地域の信仰を集めて来た由緒ある観音様である。

この附近は高低差があり高台からは遠く、秩父連山、浅間山、富士山までもが良く眺められたと言われていた。観音様の山号が富士見山と称さ



妙昌寺住職による観音経の奉経



れるのはその時以来と考えられる。
急坂の上り下りはかなり厳しく河越三郎重員がこの急坂を通りかかった折、輩下の武士が落馬により人も馬も足を痛めることが多かったことから、馬の守護として馬頭観世音を安置したのが由来とされている。

ご本尊は頭上に馬頭をいた



各家庭にお札を配布

だいた三六臂のお姿をしている。この観音様は弱い庶民の悩みごとに応じて、いろいろなお姿に化身し慈悲を与えてくれることから、広く世間に広がりを見せていった。のちに「馬うまじり坂」とも言われたこの急坂は太田道灌によって改修工事がほどこされ、交通の難所も解消した。江戸時代には馬の保護神として広く信仰され、我が町内でも昭和十年代までは、広く人々に信仰されていた。毎月十八日の縁日には、お籠りや芝居小屋、露店が立ち、アセチレンガスの匂いが流れ、賑やかだったと伝えられている。

戦後、生活様式が一変し馬も市民の日常生活から遠ざかり、昔の面影は望めなくなつた。現在は自治会の手で毎年八月十八日を祭礼の日として、観音様の伝統を守る努力が続けられている。

地区民児協だより

第十一地区

貫井 壽子

第十一地区は、本庁管内の南部に位置し、川越駅西口から所沢街道を挟み左右に広がる新宿町六町内で構成されています。総人口一、六一三人、世帯数五、三〇四、高齢化率二十・一%民生児童委員十六名、(欠員一名)主任児童委員二名で活動しています。

月一回の定例会では、初めに講演会、研修会に参加した方から内容や感想を伝えていただきポイントになる情報を



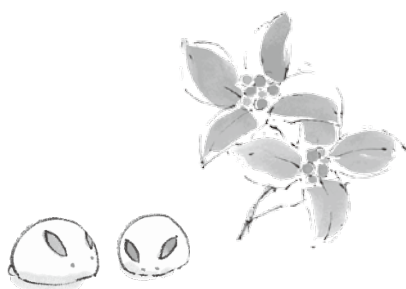
共有しています。連絡事項や配布物、後は事例を通して質問会・ミニ研修会を入れて同じような事例を経験したり関わっている人からアドバイスを貰っています。

今年度の地区視察研修会は、防災をテーマに六月に鴻巣にある埼玉県防災学習センター、九月に地区社協役員、自治会長と共に東京臨海広域防災公園を見学し、災害に強い地域づくりのために地震や暴風などの災害時の対処方法を体験、学習してきました。

また、毎月第二水曜日に実施している一人暮らし高齢者の会食会は今年の十月で発足二十六年になり、地域のボランティア十一名の皆さんと共に「毎月楽しい、来て良かった」と言っていただけの会に成長

しました。食後の催し物は、工夫を凝らしオルゴール演奏、振り込め詐欺にあわない為の講座、口の健康と食事、筋肉を鍛える体操など実施しました。お一人で過ごす時間が多い皆さんにとって地域のお友達と会話をしたり、同じ時間を楽しく過ごしていただける事が私達の見守り活動にもつながっていると思います。

いもっこ体操も三町内で実施しており全町内で発足することが目標です。現在新しい住宅建設が更に進む中、人と人との心のつながりを大切にする活動を更に展開して参りたいと思います。



受賞おめでとうございます。

全国社会福祉大会
厚生労働大臣表彰

岡田 育恵(第7)
市川富美子(川鶴)

全国民生委員児童委員大会
全国民生委員・児童委員
連合会会長表彰
(優良民児協表彰)

霞ヶ関地区民生委員
児童委員協議会

埼玉県社会福祉大会
埼玉県知事表彰

松本富三江(第1)
神山 初江(第2)
谷内 正代(第5)
増田多か子(第10)
貫井 壽子(第11)
松岡三千代(芳野)
関 征司(南古谷)
坪井 靖子(高階)
小渕 考子(高階)

武内 節子(高階)
山内 早苗(大東)
大室 千章(霞ヶ関)

栗原 正之(霞ヶ関北)
上養 礼子(川鶴)

埼玉県社会福祉大会
会長表彰

栗原 俊子(第3)
永倉 政子(第5)
菊田 洋子(第8)
川崎 勇次(第10)
田口 朋子(第10)
松本 隆男(第10)
江尻 旬子(南古谷)
長谷川八重子(高階)
沖田 一枝(福原)
仲谷 光正(大東)
大金 正司(大東)
吉田 弘子(大東)
仲 のりこ(大東)
石川 由美(大東)
大野 明子(霞ヶ関)
中島眞利子(霞ヶ関北)
蓮見 敦子(名細)

埼玉県民生委員
・児童委員大会
埼玉県知事功労章

山岸 富子(第7)
松本 道子(第9)
横田美智子(第10)
荻原 秀子(高階)
宗像ヤイ子(福原)
長島 幸子(霞ヶ関)
加藤 道子(名細)

永年勤続単位
民協会長表彰

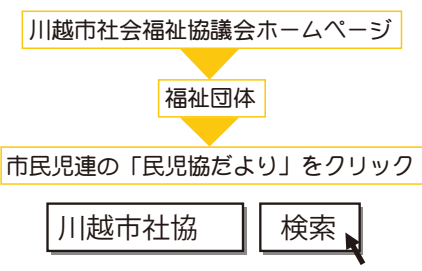
皆川 昭代(第3)
大金 正司(大東)

優良民児協表彰

芳野地区民生委員
児童委員協議会



川越市社会福祉協議会のホームページに「民児協だより」が掲載されています



主な民児連関連活動日誌

1月19日	新任者研修(県主催)
1月31日	新任者研修(市主催)
2月6日	理事会
2月15～17日	理事会
3月6日	全国民生委員指導者研修会
3月17日	理事会
4月3日	役員及び部会長等合同会議
4月27日	理事会
5月12～18日	監査会、部会報告会
5月21日	民生委員・児童委員の日
第27回	ふれあい福祉まつり

時の鐘

新年あけましておめでとうございます。平成二十九年も良き年であります。平成一九九年も良き年であります。私たちが広報部会は、平成二十五年十二月より編集を担当させて頂き、第七十号が最後の編集となりました。昨年十一月末で丸三年が経過し十二月から、新しい広報部会員により編集が始まりました。民生委員・児童委員が毎月「活動記録」を記入し月別活動件数、集計報告書を市へ提出しています。今号では、この集計結果を川越市全体でまとめてみました。改選時期は何となくそわそわしてしましますが、民生委員同志の隣人愛により、乗り越えて行きましょう。七十号の編集担当者は、西田壽、長田汎美、久保田修平、本間房恵、長谷川玲子、矢澤千春、新井純夫、肥後一隆(表紙写真担当)です。

